

学校教育目標(本校の生徒像)	重点目標(中・長期的目標)	
1 常に進歩のため問題をもってことにつく 2 常に成功の可能性を確信してことに当たる 3 常に協調融和の精神をもってことを行う	1 いじめ・体罰の根絶と、安心・安全の学校づくり 2 個に応じた進路指導と生徒の進路実現及び学習集団づくり 3 ICT機器の利活用の研究と推進による学びの充実 4 自主的に活動できる態度の育成	
今年度の重点目標	進路指導について	1 個々の生徒の進路希望実現のために、学習習慣定着を含めたきめ細かい個人指導を実践する。 2 高大接続に係る現行入試制度の研究を行い、学年を超えた情報共有を行い、保護者へ情報が伝わるようにする。
	生徒指導について	1 南高生に相応しい身だしなみと生活を確立させる。 2 暴力行為といじめおよび類似行為を根絶する。 3 貴重品等の管理を徹底し、盗難・紛失防止を図る。 4 社会的マナーの向上を図る。
	生徒会活動 自主活動について	1 生徒会の自主活動を通じて、主体的な行動のできる人間性をはぐくむ。 2 生徒会の諸行事を企画・運営し、活動を活性化するとともに、その過程における生徒相互の協力・共同作業により南高生としての自覚と連帯感を養 3 生徒自らが学校生活の充実・改善を図る。 4 地域へ情報発信するとともに、地域社会に貢献する活動を推進する。

領域	対象	実施項目／目標	評価の観点・方法	最終評価(成果と今後の課題等)
教育活動	進路指導	進路希望調査、生徒面談、保護者懇談 模擬試験の活用	学級担任、教科担任への聞き取り調査による評価	近年年内入試(総合型・推薦型)で大学入学を志望する生徒が増加傾向にあり、一般入試まで意欲を持って取り組ませることが難しくなっている。3年生の模試は希望者受験とした。今後も模試の在り方については引き続き検討が必要である。
		共通テスト、高大接続等に関する職員の情報共有と研究	職員会等を通して、カリキュラムに活かすことができたか。	毎年、3月中旬に「進学検討会」を開催し職員の情報共有を図っている。また大学入試情報を含めた情報等は、進路通信(駒草通信)を発行して全校生徒・職員に提供した。
		進路講演会等による進路決定のサポート	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり、生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。	面接指導・小論文指導は全職員で協力し行うことが出来た。ただし、総合型入試、推薦入試を希望する生徒が増加し、また、生徒が希望する分野に偏りがあり、一部の教科の先生には複数名の生徒の指導を同時にお願いするということとなり、大変無理なお願いをしていることを申し訳なく思います。先生方は快くお引き受けいただき、本当に感謝申し上げます。小論文指導は1、2年時から指導を積み重ねている。3学年を中心に平日セミナー、放課後セミナーを実施。夏季休業中も十分時間を確保することができ、生徒も意欲的に参加することが出来た。
		「学習の手引き、進路ノート、進路の手引き、進路通信」の発行		
		出願、面接、小論文指導(3学年)		
		セミナーの実施		
	学力向上	補習、セミナー、学年の時間、テスト前学習等の実施	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり、生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。	セミナーについては一般入試受験予定の生徒のために入試直前まで実施した。特編授業、学年の時間等について計画通り実施。模試の状況については全職員で共有した。
		入試・模擬試験の分析と授業方法の改善		
		年度末特編授業等による進路実現への早期対策・準備		
	研究・研修	家庭学習時間確保のための取組み	家庭学習時間等調査、個人面談で評価する。	家庭学習時間調査の結果を踏まえて、個人面談等を行い、週末課題の指示などにより改善を促した。
		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の研究	生徒アンケートにより評価する。	タブレットをはじめ、ICT機器を積極的に活用した授業が多く見られるようになった。
		進路研究会(職員対象)の実施	職員アンケートにより評価する。	本年度は3月に実施を予定している。
	教育課程	教育課程の検証および実態に合わせた改善の検討	教務係、ビジョン委員会と連携し、検証・検討できたか評価する。	3学年すべてが新教育課程となったが、引き続き検証し、改善が必要なものについては検討をしていきたい。
		進路実現のための生徒の希望に添った選択科目講座の編成	効果的な講座編成の見直しができたかを評価する。	開講できる講座数に限度があり、一部希望に添えない状況が生じている。
	生徒指導	南高生にふさわしい身だしなみとなるよう指導する。	身だしなみの乱れはなかったか。	全体としては良好であるが、頭髮・ピアスに関して若干名指導の必要のある生徒がいた。
		いじめ・暴力行為の防止に努める。	定期的な面談や生徒アンケートを活用する。	今年度指導事例無し。
		交通安全を徹底する。	自転車事故等の件数を最小限にとどめられたか。	交通事故が数件あり、特に自損事故が多かった。今後も注意喚起が必要と考える。ヘルメットの着用を積極的に働きかけていきたい。
		携帯電話、SNSの適切な使用方法を指導する。	携帯電話、SNSの使用にあたって問題はなかったか。	今年度指導事例はなかったが、注意喚起は必要である。また、授業時におけるタブレットも含めた目的外使用について指導の困難さも生じている。
		無断アルバイトがないよう努める。	許可制であることを周知する。	今年度指導事例が2件あった。また、表に出てこない無断アルバイトはある程度あるのではないかと考えている。
		飲酒・喫煙・薬物防止の指導をする。	飲酒・喫煙はなかったか。	該当する事例報告はなかった。
		盗難防止及び現金・貴重品の管理を徹底する。	現金・貴重品の管理を徹底できたか。	今年度、友人同志内の現金盗難被害加害事例が発生し、指導後、お互いの関係修復に時間を要した。
	生徒会活動	委員会活動の企画・運営と活性化、生徒会各種行事の企画運営	主体的に創意工夫のある企画運営ができたか。	生徒会執行部は、毎週月曜日に本部会を開催し、情報を共有することで、各行事、積極的に企画・運営に取り組むことができた。各委員会は委員長を中心に年間活動計画に沿って活動できた。後期からの新体制では、全県文化祭ガイダンス・生徒会交流会に参加し、来年度に向けて、積極的に活動している。
		学校生活の改善に向けた取り組み	学校生活の改善に向けた意識が持てたか。	各委員会の活動を通して、様々な活動で全校生徒の意見を取り入れ、保健ニュースの作成・掲示、中庭整備、黒板消しクリーナー清掃点検など、より良い学校生活を送れるよう努めた。
		南高祭の企画と運営	地域へのアピールができ、全校生徒が主体的にかかわっての企画運営となったか。	アンケート結果から「満足した」が、94.5%と極めて満足度が高い文化祭が行えた。例年、諏訪地区で最初の開催であり、湖畔駐車場の利用も可能なため、来場者数が1000名を超え、地域に密着した文化祭ができています。更に、文化系クラブの発表、展示などが充実できるよう工夫をした。
		地域貢献活動等の推進	積極的に地域事業等に関わる事ができたか。	諏訪湖一斉清掃をはじめ、岡谷市放課後居場所作り事業、岡谷図書館祭、子ども食堂支援、岡谷駅構内案内放送などの様々な地域事業に、生徒会執行部、JRC部、放送部、図書委員会が関わることができた。岡谷市高校生街づくり会議への参加にも声掛けができた。
		部活動の活性化および活動の広報 全校の応援意識の促進	入部率の向上と、活発な活動が持続的に行われ、成果を上げることができたか。	本年度クラブ加入率は85%であり、1年生は91%と引き続き高い加入率を維持している。学年が進むと退部者が出るため、運動部加入率がやや下がっている。文化部の加入率は約21%であるが、部員数に差があり、来年度以降のクラブ活動に支障が出ないよう、部員確保に努めたい。県大会以上の壮行会が定着し生徒の励みになっている。
	行事	強歩大会の企画運営	大会参加率を向上させ、すべての生徒が安全に活動でき、完歩率90%以上を目指す。	PTA、同窓会の協力を得て、安全面に配慮して実施することができた。完歩率は93%で目標を達成できた。
学校運営	授業公開	授業公開の実施	12月に公開授業週間5日を設定する。 これらの機会を通じ、参観者の要望・意見を十分に吸収し、それを授業に反映させることができたかどうか。 また、中学生や保護者に本校を理解してもらうことができたかどうか。	4月PTA総会の午前中に保護者向けに授業公開を行った。 10月9日(水)午前の授業を中学生とその保護者向けに授業公開した。「大変参考になった」または「参考になった」と回答した方が約98%で、概ね本校のことを理解していただいたと考える。 12月2日(月)～6日(金)の授業を中学生とその保護者向けにに学校説明と授業公開した。「大変参考になった」または「参考になった」と回答した方は100%で、本校のことを理解していただいたと考える。
		体験入学の実施 本校の特徴についてわかりやすく説明し、多くの中学生に本校を志望してもらえるよう努力する。	参加した中学生に、本校の魅力を知ってもらい「よかった」「参考になった」と思ってもらえたかどうか。	7月26日(金)に中学生とその保護者、および中学校の先生向けに体験入学を行った。「参考になった」と回答した方が約97%で、寄せられた感想から「本校の魅力」を知っていただけたと思う。
	地域・他者との交流活動	地域の小中学校との交流活動 地域で開催される行事への生徒の参加の促進	生徒会執行部をはじめ委員会やクラブなどによる地域事業への参加を促進することができたかどうか。	コロナ禍があげ、対面活動ができるようになったことを背景に、本校生徒会執行部、各クラブへ地域事業へのかかわりの依頼が増え、積極的に参加することができた。また、生徒自ら考え、自らの意思で地域貢献する場面も見られた。
	広報活動	学校公式Webページの管理・更新	Webページの更新を頻繁に行うことができたかどうか。 新聞などさまざまなメディアを利用して本校の活動実績を広く宣伝することができたかどうか。	HP上の「トピックス」、「学校からのお知らせ」の更新を進めることで、情報発信をすることができた。
		教育活動や各種イベント等の情報発信		一般紙を通して情報発信をすることができた。

令和6(2024)年度 学校評価表

A:十分 B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分

52 長野県岡谷南高等学校

領域	対象	実施項目／目標	評価の観点・方法	評価	学校関係者評価まとめ
教育活動	進路指導	進路希望調査、生徒面談、保護者懇談	学級担任、教科担任への聞き取り調査による評価	A	・1月末現在、国公立大学に12名が合格し、更に2次試験に挑戦している生徒が10名おり、昨年の実績を上回ることがほぼ確実である点からも取り組みの成果が上がっていて素晴らしいと思う。国公立大学への進学の数がすべてではないが、中学生が高校へ進学する際にそれを目標としてあげている生徒が多いことを考えると、一つの指標になるかと思う。 ・進路指導に関して、様々なサポートを行っていることがうかがえる。「保護者、同窓会、地域からの期待は、進学校・岡谷南高校としてのもの」という一言に、学校の抱える課題と苦労が凝縮されているように感じる。岡谷南高校が今後どうあるべきか十分な議論とコンセンサスが求められるように思う。 ・模試の結果をきちんと確認させ、生徒の自覚を奮い立たせるような工夫がさらに必要である。
		模擬試験の活用			
		共通テスト、高大接続等に関する職員の情報共有と研究	職員会等を通して、カリキュラムに活かすことができたか。		
		進路講演会等による進路決定のサポート	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり、生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。		
		「学習の手引き、進路ノート、進路の手引き、進路通信」の発行			
		出願、面接、小論文指導(3学年)			
	セミナーの実施				
	学力向上	補習、セミナー、学年の時間、テスト前学習等の実施	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり、生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。	A	・8割程度の生徒が推薦入試で進路を決めるという点に驚いた。1月末時点で進路未決定者が残り30名という点からも、生徒に推薦等で早く決めたいという意識が強いことがうかがえる。現在の入試制度の変容、生徒の安全志向などから当然の流れであると思うが、中学時も含めて、「行きたい学校が行ける学校か」、「将来どんな生き方をするか」という長期的な進路指導を充実させる必要性を感じる。 ・限られたマンパワーの中で、最大限の努力をされていることがうかがえるが、学年別の取り組み状況をもう少し詳しく説明する必要があるように思う。1年時から勉学を意識させることが重要と考える。 ・課題の取り組みについて、生徒が早めに取りかかれるようサポートを充実してほしい。
		入試・模擬試験の分析と授業方法の改善			
		年度末特編授業等による進路実現への早期対策・準備			
		家庭学習時間確保のための取組み	家庭学習時間等調査、個人面談で評価する。		
	研究・研修	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の研究	生徒アンケートにより評価する。	B	・以前より対話的な授業が増えているように感じる。またタブレットとスマホを両方同時に使っている生徒もあり、更に時代が進んだと感じる。 ・タブレット等のICT機器を使用した教育については、デメリットの方が大きいとの判断から、海外では見直しに向かっている国もあると聞く。ICT機器導入の効果はどのように検証していくのか。授業中、PC or タブレットを開いて何をしているのか、どう監視するのか今後の大きな課題であろう。 ・もう少し宿題等でも活用出来るよう工夫が必要だろう。
		進路研究会(職員対象)の実施	職員アンケートにより評価する。		
	教育課程	教育課程の検証および実態に合わせた改善の検討	教務係、ビジョン委員会と連携し、検証・検討できたか評価する。	B	・65分授業の検証が必要だろう。授業後半に集中できていない生徒が多いように感じる。
		進路実現のための生徒の希望に添った選択科目講座の編成	効果的な講座編成の見直しができたかを評価する。		
	生徒指導	南高生にふさわしい身だしなみとなるよう指導する。	身だしなみの乱れはなかったか。	B	・生徒指導事例の実態から、真剣に対応していることが伝わってくる。 ・対応の難しい事例もあり、警察と連携しながらしっかり対応していかなければならないと感じる。 ・ヘルメットに関しては、「努力義務」という観点から取り組みの難しさはあるが、安全教育の一環として自分の身を自分で守る観点から推進していった欲しい。 ・全体とすると落ち着いている印象はあるが、授業を受ける姿勢や校内での生徒の様子など気になる部分も感じられる。引き続き、生徒指導にも力を入れて欲しい。
		いじめ・暴力行為の防止に努める。	定期的な面談や生徒アンケートを活用する。		
		交通安全を徹底する。	自転車事故等の件数を最小限にとどめられたか。		
		携帯電話、SNSの適切な使用方法を指導する。	携帯電話、SNSの使用にあたって問題はなかったか。		
		無断アルバイトがないよう努める。	許可制であることを周知する。		
		飲酒・喫煙・薬物防止の指導をする。	飲酒・喫煙はなかったか。		
		盗難防止及び現金・貴重品の管理を徹底する。	現金・貴重品の管理を徹底できたか。		
	生徒会活動	委員会活動の企画・運営と活性化、生徒会各種行事の企画運営	主体的に創意工夫のある企画運営ができたか。	A	・文化祭をはじめとする諸行事に対する生徒の満足度、来校者数などを見ると適切で大変よい活動がなされていると感じられる。時間の長短ではなく、限られた時間の中で、自分たちがどう表現できるかこそ、現在求められていることだと感じる。 ・クラブの加入率が高く、岡谷南高校の部活動への力の入れ方を象徴している。今後は、部活動においても中高連携の推進もぜひ模索して欲しい。 ・市主催の二十歳を祝う会など卒業してからも地域の中心となって活躍してる卒業生が多く頼もしい。
		学校生活の改善に向けた取り組み	学校生活の改善に向けた意識が持てたか。		
		南高祭の企画と運営	地域へのアピールができ、全校生徒が主体的にかかわっての企画運営となったか。		
		地域貢献活動等の推進	積極的に地域事業等に関わる事ができたか。		
部活動の活性化および活動の広報 全校の応援意識の促進		入部率の向上と、活発な活動が持続的に行われ、成果を上げることができたか。			
学校運営	行事	強歩大会の企画運営	大会参加率を向上させ、すべての生徒が安全に活動でき、完歩率90％以上を目指す。	A	・コロナで中断していた強歩大会が復活できたことは素晴らしいことだと思う。 ・12月実施の授業公開は、中学生にとって、8月の体験授業とは違った形で、現在の南高校の様子を知ることができるとてもよい機会となっており、継続してほしい。
	授業公開	授業公開の実施	12月に公開授業週間5日を設定する。 これらの機会を通じ、参観者の要望・意見を十分に吸収し、それを授業に反映させることができたかどうか。 また、中学生や保護者に本校を理解してもらうことができたかどうか。		
		体験入学の実施 本校の特徴についてわかりやすく説明し、多くの中学生に本校を志望してもらえるよう努力する。	参加した中学生に、本校の魅力を知ってもらい「よかった」「参考になった」と思ってもらえたかどうか。		
	地域・他者との交流活動	地域の小中学校との交流活動	生徒会執行部をはじめ委員会やクラブなどによる地域事業への参加を促進することができたかどうか。	A	・夏の授業体験は、中学生にとって高校への期待を膨らますとともに自己の進路選択の参考となっている。 ・生徒の取り組みの様子をもっと積極的に広報する工夫を考えて欲しい。
		地域で開催される行事への生徒の参加の促進			
	広報活動	学校公式Webページの管理・更新	Webページの更新を頻繁に行うことができたかどうか。 新聞などさまざまなメディアを利用して本校の活動実績を広く宣伝することができたかどうか。	A	・『学校だより』は学校の様子が読むだけで伝わってくる。保護者にとってもうれしいことだと思う。 ・学校のホームページをスマートフォンでも閲覧しやすく改善して欲しい。
		教育活動や各種イベント等の情報発信			